

# 北神宮寺遺跡通信 No. 2

きたじんぐうじいせき つうしん

2007年9月5日

## ■ 発掘調査、順調に進んでいます

熊谷市と多治見市で40.9度が観測され、74年ぶりに最高気温の記録が塗り替えられた猛暑日の8月16日、予定通り発掘作業を開始しました。それから約3週間、連日の暑さの中ではありますが、調査活動は順調に進んでいます。そして、発掘した場所からは、竪穴住居や方形周溝墓(ほうけいしゅうこうぼ)などの遺構や、多数の土器・短刀等の遺物が発見されています。



古墳時代(約1700年前)の方形周溝墓の跡

### < 考古学豆知識 >

- 遺構：遺(のこ)された建造物の意味。住居跡、道路跡、溝跡、墓など昔の人々が生活した跡や地面を掘った跡のことをいう。
- 遺物：昔の人々が使っていた(作った)食器や生活の道具など。土器や石器、木製品、金属製品など。
- 竪穴住居：地面を掘り下げて床面を作り、そこに柱を立てて屋根をおおった住居。基本的には、縄文時代は丸形、弥生時代は小判形、古墳時代以降は正方形に変化していく。
- 方形周溝墓(ほうけいしゅうこうぼ)：周囲に方形の溝をめぐるせた盛り土の墓。日本では一辺10メートル前後のものが多い。



①



②



③



④

- ① 完全な形の高坏(たかつき)(古墳時代前期:1700年前)
- ② 並んで出土した甕(かめ(土なべ)) ( " :1700年前)
- ③ 方形周溝墓から出土した土器の様子  
(弥生時代後期:1800年前)
- ④ 短刀が出土した墓  
(鎌倉時代:800年前)



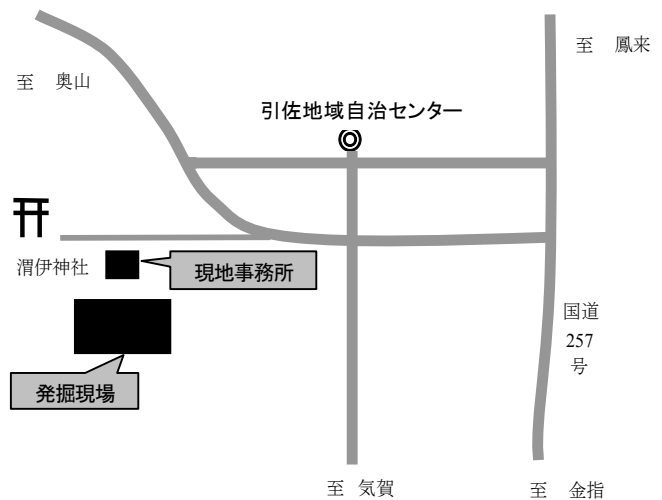
見学に訪れた井伊谷小6年生児童



発掘体験を行った細江中1年生生徒

### ■ 遺跡の見学について

遺跡の発掘作業は平日、午前8時45分～午後4時45分に実施しています(雨天時は作業を休止します)。作業時間内でしたら、調査現場は見学いただけます。なお、現地は危険な箇所がありますので、作業時間以外の調査地内への立ち入りはご遠慮願います。



編集発行  
現地連絡先

浜松市埋蔵文化財調査事務所  
北神宮寺遺跡調査事務所

TEL485-3465  
TEL542-3990